

がんばれ 認定農業者!! シリーズ②⑤

さつま町平川

神 園 憲 一 さん



神園さんは、母豚50頭の一貫経営を主体に、水稲1ha、焼酎用のさつまいも25aを経営されています。

神園さんの養豚場では、厳しい管理体制のもと生産・飼育され、県経済連を通じて、生協コープがごしまへと出荷されます。生協コープがごしまが実施する産直二者認証にも認定されています。厳しい品質基準をクリアした安心・安全な豚は、商品のラベルに黄色の星印が表示され、白豚の産直豚として、店頭に並べられるほか、宅配で消費者のもとへ届けられます。

神園さんは「今は、飼料コスト高などで、経営的には厳しい時期ですが、安心・安全はもとより、品質にこだわった、消費者に信頼されるものを生産し続けていきたい」と話されました。

「男女共同参画週間」 6月23日～29日



つぶやきさん



ささやきさん

6月23日からの1週間は「男女共同参画週間」です。この機会に、地域や職場での1年間を振り返ってみませんか。町では、今年3月にさつま町男女共同参画計画書「さつま町男女いきいき幸せプラン」を作成しました。今後、「プラン」の実現を目指してより一層推進して参ります。

わかちあう 仕事も家庭も喜びも ——男女共同参画社会——

「つぶやきさん、ささやきさんへの質問」

つぶやきさん 今までは、当たり前だと思ってやっていたことを変えなくちゃいけないの？

ささやきさん そうですね。人それぞれ過ごしてきた環境や性格、生活スタイルの違いから、いろんな考え方がありますが、今まで「男性がやること・女性がやること」と思い込んでいたことの中に「自分にもやれること」はないか考えてみてください。意外と「自分でもできる」ことってあるんですよ。まずは、そこからかな……。

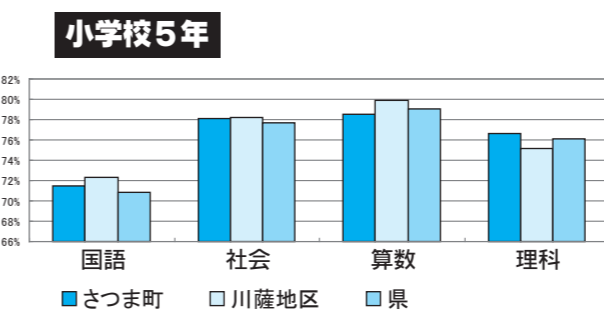
つぶやきさん そうっかあ。あんまり難しく考えなくてもいいんだね。

子どもたちに確かな学力を定着させるために

さつま町教育委員会

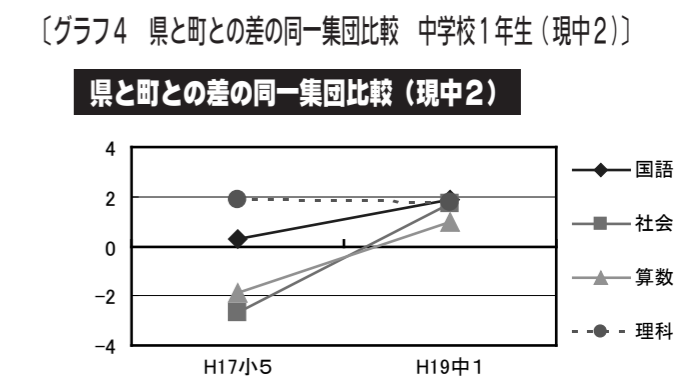
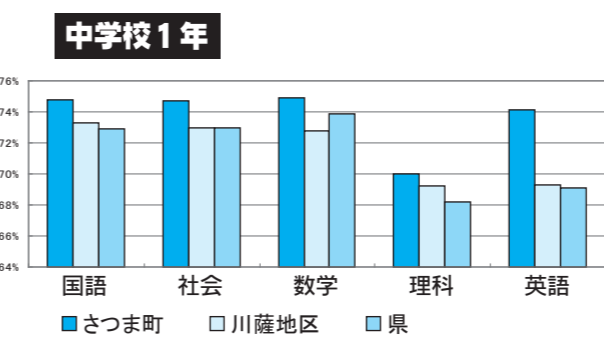
本町学校教育の重点課題のひとつは、子どもたちに確かな学力を定着させることです。下のグラフは、本年1月に県教育委員会が県下の全ての小・中学校を対象に、学年を抽出して実施した「基礎・基本」定着度調査の町全体の結果（平均通過率）です。町内各学校では、この調査の結果を生かして授業の進め方や家庭学習の方法を見直し、子どもたちの学習状況に応じた指導の手立てを工夫するなど、子どもに確かな学力を定着させるために取り組んでいます。

〔グラフ1 小学校5年生の結果〕

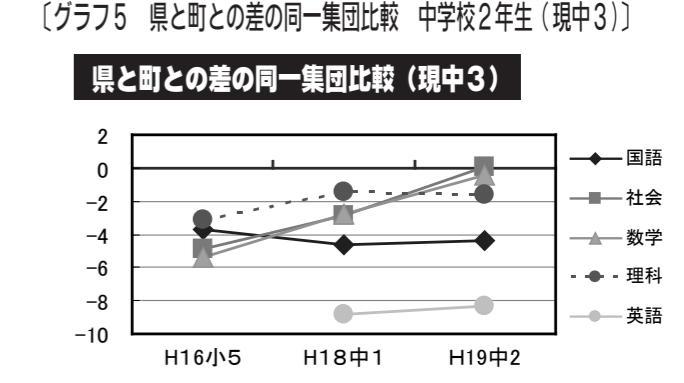
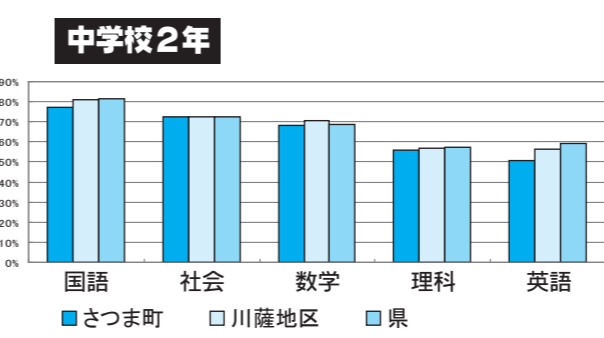


〔小学校5年生の分析（グラフ1）〕
国語科、社会科、理科は県や地区の平均と同等か、または、それを上回っています。各教科とも、本調査の目安である70%を越える通過率を示しており、基礎学力の定着が見られます。
算数科は、県や地区の平均を若干下回っています。多様な考え方を基に問題を解決する力を更に身に付けさせ、学力の定着を図る必要があります。

〔グラフ2 中学校1年生の結果〕



〔グラフ3 中学校2年生の結果〕



〔中学校1・2年生の分析（グラフ2, 3, 4, 5）〕
中学1年生（現中学2年生）は、各教科とも県や地区の平均より高い結果であり、過去の結果と比較しても学力の向上が見られます。（グラフ2, 4参照）中学2年生（現中学3年生）も、過去の結果と比較すると着実に学力の向上が見られますが、社会科以外は県平均より低い結果です。特に、国語科が4ポイント、英語科が8ポイントの差があることから、より一層基礎学力を定着させていく必要があります。（グラフ3, 5参照）

- 〔町教育委員会の取組の重点〕
- 1 学力の基礎となる国語力の向上に努めます。
 - 2 教師の指導力を高める研修の充実に努めます。
 - 3 家庭学習の充実に努めるための指導に努めます。

